



みなさん、こんにちは。

業務紹介第13弾として土木分野のうち下水道系の業務内容を、三浦氏上下水道部 山上下水道担当部長（入省8年目）より語ってもらいました！



溝川市議の現場視察対応の様子（左が本人）、事業着手30周年記念に設置したカラーマンホール（三浦氏上下水道部 山上下水道担当部長（入省8年目））

1. 下水道分野の業務の国交省における役割を教えてください。

下水道は、皆さんが生活する上で生じるトイレやお風呂等の汚水を常に受け入れることとなります。そのため「24時間、365日止めることのできない」非常に重要なインフラです。何もない平常時は、料金徴収や施設の保守点検、運転管理、工事等を行い、災害等が発生した際には、速やかな機能回復に努める等、安定的な下水道サービスを住民に提供することが私たち下水道職員の使命の一つです。

国土交通省は、下水道事業を運営するにあたって必要となる各種施策を企画・立案し、事業主体である地方公共団体に寄り添った支援、例えば予算の配分、法令整備やガイドラインの作成等を行っています。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

下水道分野では、これまでも施設を賢く使い次世代へと確実に引き継ぐため様々な施策が実施されてきました。例えば、これまでは地方公共団体が担ってきた下水道事業運営に、民間事業者が有する技術や経営ノウハウを取り込むことも有効な方法の一つと考えられています。

私が派遣されている神奈川県三浦市は、PFI法に基づく公共施設等運営権方式、いわゆるコンセッション方式が諸課題の解決方法として有効だと考え、国土交通省等の補助金を活用しながら事業化検討、スキーム設計を進めています。コンセッション方式の導入によって、これまで市が実施してきた経営業務等を事業者が担うこととなり、効率的な運営やサービス水準の向



上が期待されます。

下水道分野におけるコンセッション方式の導入は、全国でも 4 番目の事例となり得るため、下水道関係者からの注目は非常に高い施策と言えます。

3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

安定した下水道サービスを提供するため計画的な施設点検・工事、適切な利用料金の検討といった事業運営に係る業務はもちろん、市議会議員の要望に応じてレクや現場視察への対応等を行なっています。また、少し意外に思われるかもしれませんが部長級職員として、下水道以外の案件、特に市として総合的な経営判断を伴う会議(新型コロナウイルス感染症対策等)において市長等と意見を交わす機会もあります。

コンセッション事業においては、国土交通省等が策定したマニュアル等を参考とし、外部有識者や民間事業者から頂いた意見を踏まえスキーム検討を重ね、今年の 3 月にはコンセッション事業に関する条例を市議会でお認め頂きました。これにより、これまでの検討フェーズから、事業者募集フェーズへと進めることが出来ました。ただ先述の通り、本事業は前例が少なく 20 年間という長期間、事業運営を事業者に委ねることとなり、予測できない要素をどのように扱うかの判断に悩むことも多々あります。そんな時は「本事業で目指す姿」を掘り下げ、そこに「市の基本理念が実現されるか」「明快なスキームとなっているか」といった根本的な問いを自分自身に投げかけながら、少しずつではありますが着実に前へと進めるようにしています。

4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

私の関わった仕事について予想以上のリアクションを受けた時にやりがいを感じます。前の部署では、本省水管理・国土保全局下水道部にて国際業務にあたっていました。東南アジア諸国との政府間会議等において、我が国技術を活用した事業の必要性等を PR し、相手の”ウケ”が良かった場合、次のアクションに繋がれた時は充足感があります。現在は、住民との距離も非常に近い市役所の最前線にいます。昨年の着任以降、予算折衝から市議会説明等のかなり時間を割いた業務があったのですが、その顛末を知った、ある住民から「市役所に足しげく通ってよかったよ。本当にありがとう」と言っていただけました。

また、本市は、今年の 12 月に事業着手 30 周年を迎えることを契機として、広報活動にも力を入れ始めています。昨年には、市の鳥「うみう」、市の花「はまゆう」をあしらったカラーマンホールを設置し、今年の 4 月末からはマンホールカードを配布しました。このカードは、GW 明けには予定数量を配布しきるといった予想以上の反響がありました。これらは、ユーザーの種類が違うものの非常に印象に残っており、自分の投げたタマが誰かだとか世の中に刺さったと思える時、面白さを感じるのだと思います。



5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

新型コロナウイルスの影響を受け就職活動等、上手く行かないことが多く大変かと思えます。激変する環境にいかに順応出来たかは、就職活動での”ウリ”にもなりますし、今後、異動の多い公務員人生において良い経験になると思えますので、前向きに取り組むのもありだと思います。

この投稿をきっかけに下水道事業、国土交通省の関心を寄せていただき、さらには就職説明会等に足を運んでもらえることになれば大変幸いです。

#三浦市 #三浦海岸 #神奈川県 #マンホールカード #蓋女



神奈川県三浦市の海（三浦海岸）



休日は海岸で焚火をしています



収集している三浦市グッズ